

所属：医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター細胞機能研究分野
(岩倉研究室) (4号館3階)

http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/cem_dcb/

氏名：角田 茂 (Kakuta, Shigeru Ph.D., D.V.M.)

身分：助手

研究室全体の研究テーマ

自己免疫疾患モデルの開発と発症機構の解析
神経-免疫-内分泌異常モデルの作製と発症機構の解析
エイズ感染モデルの作製と発症機構の解析
体細胞初期化メカニズムの解明と新規再生医療技術の開発

研究室で所有する実験装置

胚操作用マイクロマニピュレーター
FACScalibur
CCD 付き蛍光顕微鏡 (ニコン)
共焦点レーザー顕微鏡 (バイオラッド)
ミクロトーム、クライオスタット (ライカ)
全自動 DNA・プラスミド抽出装置 (クラボウ)

研究内容

疾患モデルや病態を解析するためのツールとして発生工学的手法を用いてトランスジェニックマウスやノックアウトマウスを作製し、個々の遺伝子と疾病との関係を理解し、治療につなげることを目的として研究を進めている。特にサイトカインの病態形成における役割に興味を持っており、感染症や自己免疫疾患、癌、ストレス応答などの種々の局面における役割を検討している。なお、消化管関連としては、*Apc^{Min}* マウスにおける腸管ポリプ形成、DSS 誘導大腸炎について解析を進めている。

